

近畿中国局フォレスターNEWS

新たな森林整備推進協定を締結（広島北部森林管理署）

森林整備推進協定とは、国有林と民有林が連携し、効率的な森林整備を進めるための協定です。

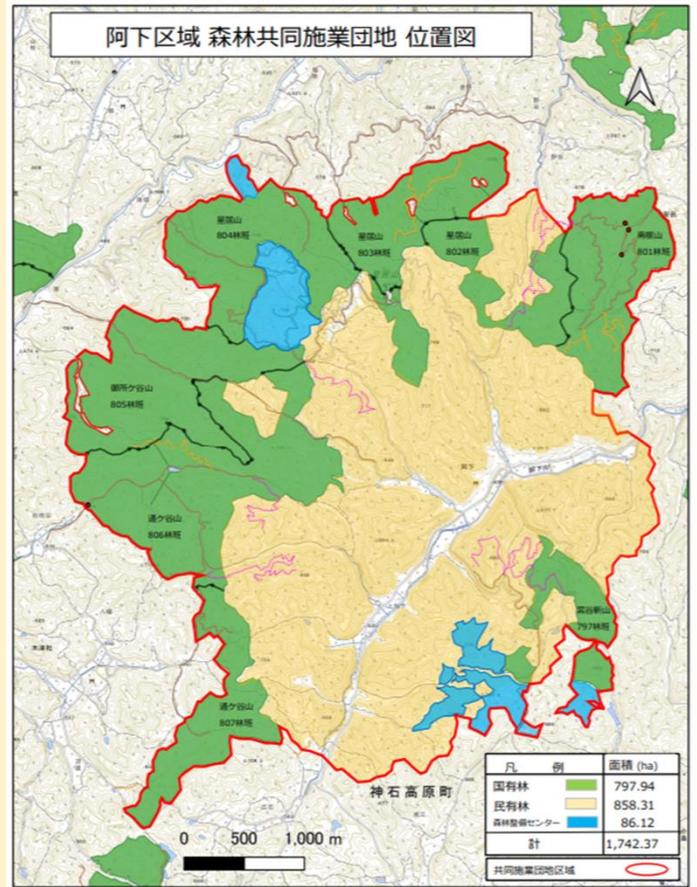
この協定は、森林管理署等が地方公共団体や民間企業、森林所有者などと、効率的な路網の開設や間伐等の森林整備を推進するための森林共同施業団地を設定し、森林の多面的機能の持続的な発揮や森林・林業の活性化を目指しています。

こうした中、広島北部森林管理署は12月15日、広島県神石郡神石高原町の阿下区域を対象に、神石郡森林組合、森林整備センター中国四国整備局広島水源林整備事務所と、国有林と民有林が連携して効率的な路網の開設や間伐等の森林整備を推進するための共同施業団地の設定を内容とする「阿下区域森林整備推進協定」を締結しました。

当署管内では平成29年締結した福永区域以来の3団地目となります。協定期間は令和8年4月1日から令和13年3月31日、協定面積は1,742.37ha（民：944.43ha、国：797.94ha）と平成29年に締結した福永区域の約2倍の規模となっています。

当署では、「阿下地区では民有林の所有面積が小さく、複数の所有者に分散しているため、施業の集約化によって効率的な森林整備や木材生産を図っていく必要がある。平成29年に締結した福永区域と同様に、民国が連携して森林施業を行うことにより、民有林、国有林双方に森林整備の効率化、低コスト化が図って参りたい」としています。

近畿中国森林管理局では、民有林と連携した森林整備等の推進の一つとして、引き続き、森林整備推進協定（森林共同施業団地の設定）に向けて取組を進めていきます。



阿下区域森林整備協定（森林共同施業団地）位置図



調印式（右側から入江神石高原町長、矢吹神石郡森林組合代表理事組合長、土井広島水源林整備事務所長、中塚広島北部森林管理署長）

省力化・低コスト化林業の取組に関する現地検討会（山口森林管理事務所）

山口森林管理事務所は1月26日、山口市徳地文化ホール及び滑山国有林において、造林作業の省力化・低コスト化をテーマに現地検討会を開催し、県及び山口市、林業事業者等から16名が参加しました。

当所から、コンテナ苗の活用事例、車両系・架線系の一貫作業システムによる造林作業の効率化、そして、下刊の省略による初期費用の削減などの取組事例を紹介し、その後、滑山国有林において、架線集材や無地拵え箇所の現地を見学しました。

質疑応答では、枝条の処理方法やコンテナ苗の成長状況など、様々な意見交換が行われ、有意義な現地検討会となりました。



滑山国有林の架線集材箇所の見学

RTK搭載ドローンのデモ飛行見学会（滋賀森林管理署）

滋賀森林管理署は2月17日、滋賀県近江八幡市の奥島山国有林において、森林・林業分野で導入が期待されるRTK（Real Time Kinematic）搭載ドローンのデモ飛行見学会を開催し、民有林関係者から12名が参加しました。

国内ドローンメーカーによるRTK搭載ドローンのデモ飛行が行われ、ドローン撮影による安定した高精度測位の仕組みについて学習しました。

質疑応答では、森林・林業分野での活用のメリット・デメリットなどを確認するなど、有意義な意見交換となりました。



RTK搭載ドローン



奥島山国有林でのデモ飛行の様子

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL : 06-6881-3524

Email: kc_fukyu@maff.go.jp

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

技能実習制度に代わる新たな「育成就労制度」が来年の4月1日から開始される。国際貢献を目的とした技能実習制度とは異なり、日本国内の人手不足分野における「人材確保と人材育成」を目的としている。外国人受け入れ上限は林業で500人で、特定技能制度と合わせては、1,400人となる。林業・木材産業にとって、少しでも人手不足が解消することを期待したい。